

北 見 市

一般廃棄物処理基本計画

「みんなでごみの減量化に挑戦」

平成21年3月

北 見 市

～はじめに～

20世紀には、大量生産・大量消費・大量廃棄を謳う社会システムが、私たちに物質的な豊かさという大きな恩恵を与えてくれましたが、その反面、天然資源の枯渇、生態系の破壊、二酸化炭素などによる温暖化など、多岐にわたる環境問題を引き起こして来ました。それに対し、「環境の世紀」と言われる21世紀には、従来のシステムと異なり、環境負荷をできる限り抑えた、自然と共生しながら資源・エネルギーを有効に活用する「持続可能な循環型の社会」への転換が強く求められています。

そのような中で、国は循環型社会形成推進基本法をはじめ、循環型社会形成推進基本計画、各種リサイクル法などを整備しました。また、それらの法制度が適切に実施されるならば、国民のライフスタイルが見直され、即ち、社会における物質循環が推進される結果として、化石燃料を中心とする天然資源の消費が抑制される循環型社会が実現するとしています。

平成18年3月に誕生した新『北見市』は、大雪山国立公園に隣接する森林、常呂川などの河川、流氷漂う詩情溢れるオホーツク海、サロマ湖、ワッカ原生花園などの自然が豊かな大地を有し、大変環境に恵まれています。多くの先人たちから受け継いだこの豊かな自然環境については、永く後世に引き継いでいかなければなりません。

現代に生きる私たちに課せられた重要な責務は、ごみの減量化、資源化及び適正処理の推進によって、環境負荷を可能な限り低減化し、未来ある子どもたちにそのような豊かな環境を残していくことにあります。更に、生活排水による河川・湖沼などの水質汚濁の防止と快適で豊かな水環境の創出とを図り、人々の心に潤いと安らぎをもたらすこととあります。

北見市は、このたび、環境負荷が少ない循環型のまちづくりを推進するため、『みんなでごみの減量化に挑戦』をスローガンとする平成21年度から平成30年度までの10年間にわたる北見市一般廃棄物処理基本計画を策定しました。今回の基本計画では、今後10年間でごみを30%減量化するとの数値目標を掲げました。この目標を達成するためには、北見市は市民と事業者とを含めた3者が一体となって取り組んでいくことが何よりも重要であると考えています。どうぞ、これまで以上のご協力・ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定にあたりご協力をいただきました市民、事業者の皆様並びに多くの貴重なご助言・ご提言を賜りました北見市廃棄物減量等推進審議会委員各位に厚くお礼を申し上げます。

平成21年 3月

北見市長 小 谷 毎 彦

目 次

第1編 総 論	1
第1章 基本計画策定にあたって	1
1 計画策定の目的	1
2 計画の対象範囲	1
3 計画の位置づけ	2
4 計画の期間	2
5 計画の区域	3
6 合併後におけるごみ処理関連の調整方針	4
第2章 基本計画の進捗状況の管理	5
1 計画の点検・評価・見直しとその情報公開	5
第2編 ごみ処理基本計画	6
第1章 ごみ処理の現状と課題	6
1 家庭系ごみの分別と収集運搬体制	6
2 家庭系及び事業系ごみの処理施設と処理体制	7
3 ごみの排出量と推移	7
4 ごみの収集運搬・処分費用	9
5 事業系ごみの処理	10
6 家庭系ごみの広域的な処理	11
7 家庭系ごみの組成調査	11
8 家庭系ごみ処理手数料の有料化に伴う減量効果の検証	12
9 ごみの不法投棄及び不適正排出の取り組み	15
10 清掃活動への支援	16
11 生ごみ堆肥化容器・電動生ごみ処理機の普及	16
12 廃棄物減量等推進員	16
第2章 ごみ処理基本計画	17
第1節 計画の基本理念と基本方針	17
1 基本理念	17
2 基本方針	18
3 計画の数値目標	19
4 国及び北海道における削減目標との比較	21
5 基本計画の体系	22
第2節 目標達成に向けた具体的な施策	23
1 基本方針と施策	23
基本方針1 ごみを発生させない環境づくりの推進	23
基本方針2 資源を有効に活用するシステムづくりの推進	26
基本方針3 環境に配慮したごみ処理の推進	28
基本方針4 環境にやさしいきれいなまちづくりの推進	31
2 施策ごとのごみ減量効果	33
3 自治区ごとに異なるごみ処理方法の今後の計画内容一覧表	35

第3編	生活排水処理基本計画	36
第1章	生活排水の現状と課題	36
1	生活排水の処理体系	36
2	生活排水の処理状況	37
3	し尿・浄化槽汚泥の収集運搬体制と収集量	38
4	生活排水の処理施設	38
5	生活排水処理の課題	39
第2章	生活排水処理計画	40
1	基本方針	40
2	計画の数値目標	40
3	目標達成に向けた施策	41